



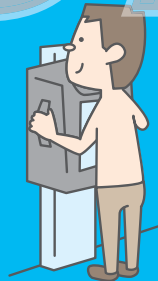
転送不要

SAMPLE

SAMPLE

肺がん検診のお知らせ

一年に **5分**
ください。



SAMPLE

〇〇市 福祉保健部 健康推進課

〇〇市より0,000円の助成*があります。

■対象者

〇〇市在住の40歳以上の方

■受診期間

平成〇〇年〇月〇日～
平成〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期間が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

■検査費用

肺がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

SAMPLE

*現金が支給されるわけではありません。

肺がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL: 000-0000-0000

2. 実施医療機関に直接予約する

3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■受診内容 ・問診 ・胸のレントゲン撮影
・喀痰(かたん)細胞診(問診により必要な方のみ)

4. 結果

約2～3週間後に自宅に郵送されます。

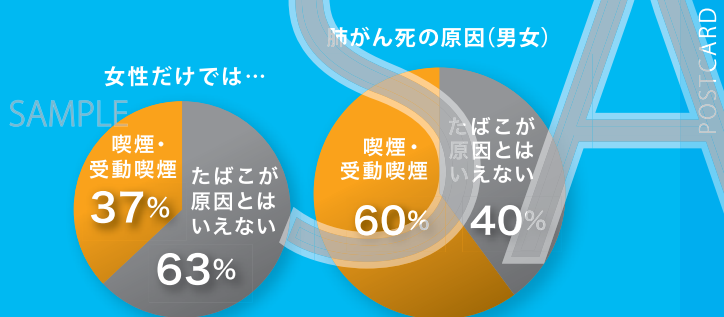
検査結果を確認してください。

SAMPLE

OPEN

肺がん死の2人に一人は、
たばこが原因とは
いえません。

喫煙者でも受動喫煙者でも
ありません*。



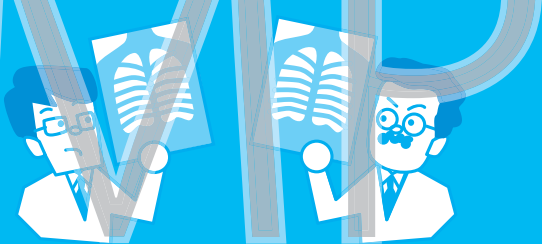
* Inoue M et al. (Ann Oncol 2012;23:1362-1369) をもとに研究班が推計

たばこを吸わなくても、肺がん検診を。

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

SAMPLE
肺がん検診では、二重読影が
国の基準で定められています*。

2人の医師が、
別々にチェック。



胸部レントゲンのフィルムは、
2人の医師がじっくり調べることになっています。
これが、肺がんの影を見落とさないために
国の基準で定められた、二重読影です。

* 厚生労働省「がん予防率点検普及がん検診実施のための指針」

SAMPLE
肺がんは、死亡数が
男女合わせていちばん多いがんです。

■ 肺がんの死亡数 **男性 第1位** **女性 第2位**

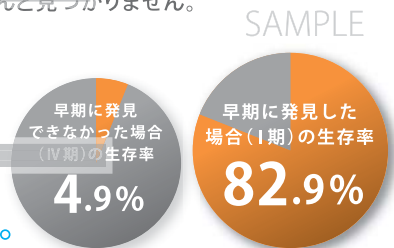
出典：人口動態統計(2014年)

初期には自覚症状が
ほとんどないのが、
肺がんの怖さです。



とくに肺の奥にできるがんほど、咳や痰などの症状が出にくく、
気づきにくいのが特徴です。自覚症状がないので、初期の肺がん
は検診でなければほとんど見つかりません。

早期に発見
すれば、
生存率が
高いがんです。



早期に発見するために、自覚症状がなくても
検診を受けることを強くお勧めします。

* ここでいう「生存率」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設の生存率共同調査(2004～2007年全症例)

この圧着はがきは、国立がん研究センター保健社会学研究部が作成しました。